

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 芦屋健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	「食育推進計画（第4次）」を進めるために、地域の食育推進の中心となる栄養関係機関・団体の共通理解と連携が重要である。 令和3～4年度には芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の連携強化を図るべく地域課題の共有や取組の情報交換を行うとともに、協働した取組として高齢者に向けたフレイル予防に関する食育実践活動を行った。実践場所となったつどいの場の支援者からは内容について好評であったものの、講座の継続的な実施については予算確保が困難であることや、運営者（講師）となり得る地域活動栄養士のマンパワー不足が課題である。 芦屋市の高齢化率は30.7%(R6.2時点)と県平均29.5%より高く今後も増加される見込みであり、高齢者等の低栄養予防・フレイル対策は重要である。市の方針も踏まえて継続的な実施体制を模索する必要がある。
今年度の推進方策	・地域のフレイル予防対策の推進状況を把握のもと、低栄養予防・フレイル対策の継続的な実施体制について検討する。 ・栄養関係機関・団体との連携体制の充実強化を図る。
成果	高齢者の低栄養・フレイル対策が市内で一定程度実施されていることが分かった。そのため、地域の健康課題を再分析し、食育推進状況を年代別に整理した結果、食育推進の介入が望ましい世代（働き盛り世代）が明らかとなり、食育関係機関・団体で次年度の方向性について共有することができた。 地域で活動できる栄養士の人材不足の課題は残るものの、現有の人員で協働・連携した取り組みを継続する体制は確実に整備された。
今後の方向性	次年度からは働き盛り世代をターゲットに、引き続き、栄養関係機関・団体の共通理解と連携を図りながら展開する。

2 会議の開催状況

実施日時	1 令和6年7月29日（月）14:00～15:30 2 令和7年3月19日（水）14:00～15:45
参集者 (団体数 及び人数)	1 芦屋市こども家庭・保健センター 計1機関 2名 2 芦屋栄養士会、芦屋在宅栄養士会、芦屋市こども家庭・保健センター 計3機関・団体 4人
協議内容	1 管内行政栄養士業務連絡会 (1)情報交換 食育推進事業について (2)意見交換 健やか食育プロジェクト事業について 2 健やか食育推進会議 (1)取組報告 3年間の取り組みのまとめ (2)意見交換 地域の健康課題と食育推進状況・今後の方向性について (3)情報交換 各機関・団体の取り組みと課題
今後の方策	今後も、栄養関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いながら、連携・協働した事業を実施し、地域全体の食育が推進されるよう、本会議を継続する。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	地域の同職種連携の充実 ～フレイル予防事業の継続的な実施体制の検討～		
対象及び参加者数	① 芦屋在宅栄養士会 延べ21人 ② 芦屋市高齢介護課職員 3人 ③ 芦屋市社会福祉協議会、地区福祉委員会代表者 延べ28人 ④ ふれあいの会参加者及び支援者（福祉推進委員） 18人		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	9月11日(水)10:00～10:20 10月9日(水)9:40～10:10 令和7年2月12日(水)9:40～9:50 芦屋市保健福祉センター内	＜検討・意見交換＞ フレイル予防事業の持続可能な実施体制について	芦屋健康福祉事務所
	9月20日(金)10:00～10:30 芦屋市役所内	＜ヒアリング＞ 市内におけるフレイル予防事業の実施状況と課題について	芦屋健康福祉事務所
	10月7日(月)13:30～14:00 11月18日(月)13:30～13:35 芦屋市保健福祉センター内	＜ヒアリング・事業PR＞ フレイル予防講座のニーズ把握	芦屋健康福祉事務所
	令和7年1月14日(火)10:30～11:30 奥池集会所	＜講座の実施＞ 講話「食からはじめるアクティブライフ」	芦屋在宅栄養士会 芦屋健康福祉事務所
成 果	【成果】 フレイル予防講座の実践にあたり、有償を伴う持続可能な運営を見据えて、依頼側の予算負担と講師の負担を軽減するためにプログラムを一部見直した。 地域のフレイル予防対策の実施状況と世代別の食育推進体制など総合的に評価した結果、計画当初の「継続的なフレイル予防講座の実施体制の検討」から方針を変更し、優先すべきターゲット層を見直すことができた。 【評価指標と目標値及び達成状況】 ・食育推進にかかる継続的な連携体制 目標：1 機関 2 団体（現状維持） 結果：1 機関 2 団体		
今後の課題	次年度より働き盛り世代をターゲットに食育推進を行う方向である。働き盛り世代へ食のアプローチができるよう新たな団体・企業と連携出来るよう調整を行う必要がある。		

※プログラムや内容が分かる資料を抜粋し添付すること。

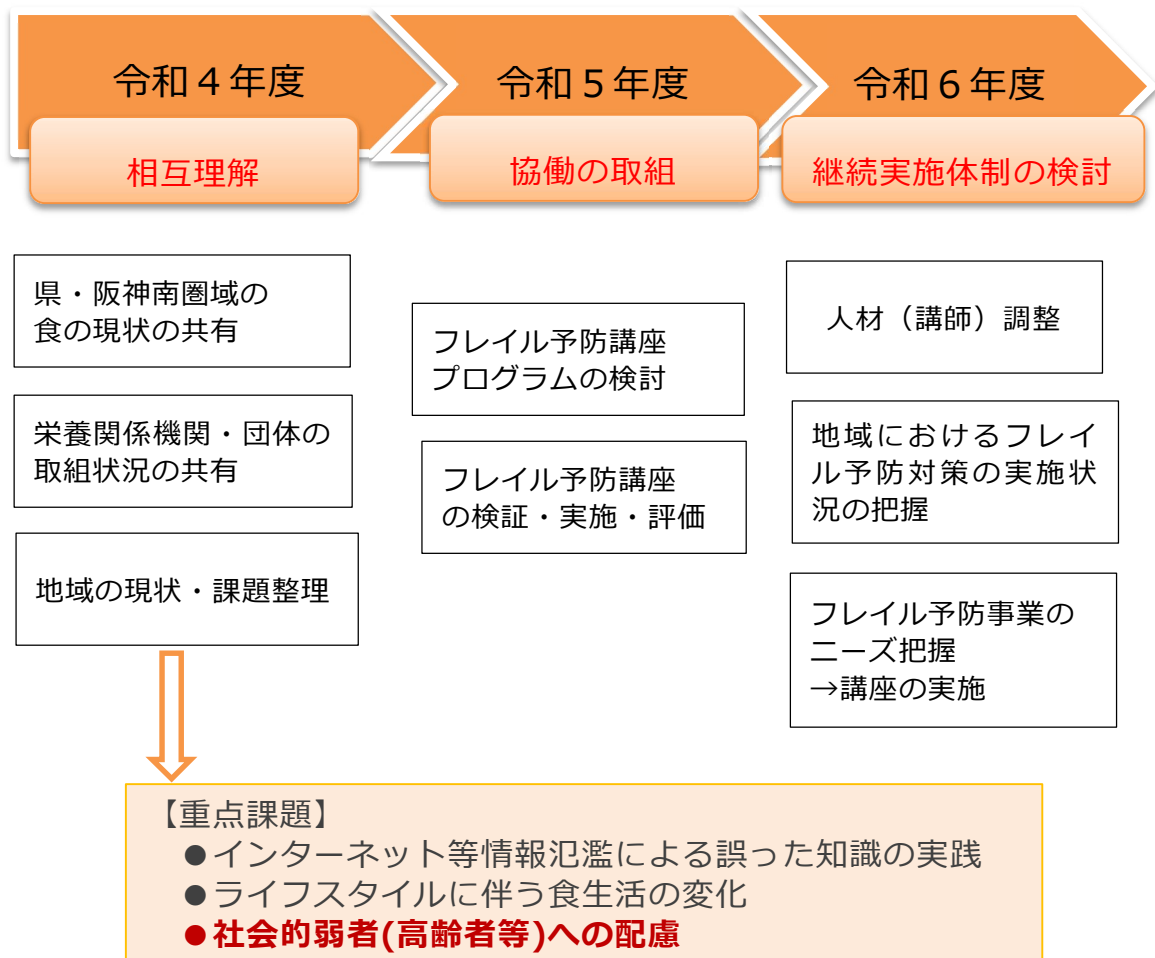
令和6年度 健やか食育プロジェクト事業

～栄養のネットワークで地域の食育推進（3年間のまとめ）～

背景

- 県食育推進計画（第4次）が令和4年3月に策定され、同年度には芦屋市食育推進計画の改定作業が進む中、芦屋市の食育推進の方向性をふまえ、地域の取り組みを考える必要があった。
- 芦屋市には、芦屋栄養士会と芦屋在宅栄養士会の二つの栄養士会が組織化され、地域の食育推進のために、両会の連携が大切である。

地域の食育を進めるために、まずは食育推進の中心となる栄養のネットワークと共通理解と深める。



令和6年度の取り組み



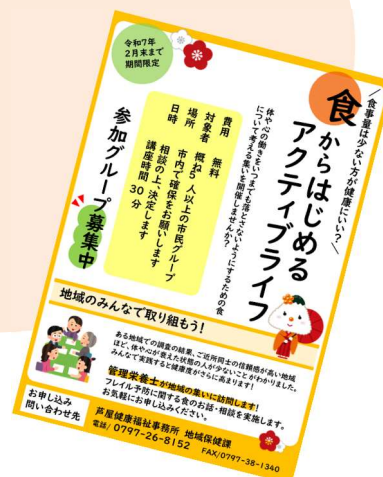
高齢者のつどいの場における 『フレイル予防講座』

食育実践活動



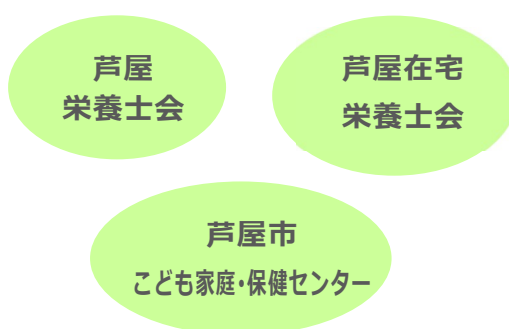
1. 食事の話

- フレイルの意味
- フレイル予防の食事、たんぱく質アップの食の選び方



健やか食育推進会議

- ① 3年間の取組の振り返り・まとめ
- ② 地域における食育推進状況と健康課題の整理並びに今後の方向性
- ③ 関係機関・団体の取組状況と課題

[illegible]

これから

市内における栄養関係機関・団体間の連携体制は着実に進展。
次年度からは働き盛り世代をターゲットとした食育推進を展開予定。
引き続き、栄養関係機関・団体の情報共有（活動状況、栄養・食生活
のデータ等）を行うとともに、協働・連携した活動を行う。